

大熊青果有限会社

SDGs宣言

2022年10月 1日
大熊青果有限会社
代表取締役 大熊 稔

当社は国連が提唱する「持続可能な開発目標（SDGs）」に賛同し、
事業活動を通じて持続可能な社会の実現に貢献してまいります。

SDGsの達成に向けた取り組み

「商品・サービス」

“富有柿のマル席”として地元発祥の特産品「富有柿」の魅力を発信するとともに、多くの皆様に確かな品質の青果物を提供することによって、地域社会の発展に貢献してまいります。

<主な取り組み>

- ・岐阜県産富有柿の販売を通じた地元地域の活性化
- ・地元農家とのコミュニケーション継続により、よりよい商品の提供
- ・商品保存への配慮、気遣いによる鮮度や品質の維持



「人権・働きがい」

農家や社員、関わる人々の立場になり、“感謝”を第一に、継続的なコミュニケーションを図ることで、社員が働きやすい環境づくりを実践してまいります。

<主な取り組み>

- ・コミュニケーションを大切にした職場環境の構築
- ・女性や高齢者の積極的な採用による多様な人材が活躍できるような職場の提供
- ・変形労働時間制の採用や柔軟な勤務形態による労働環境の整備



「環境」

事業活動において、廃棄物の適正処理や削減、資源の再資源化、省エネに取り組み、環境負荷の軽減に努めてまいります。

<主な取り組み>

- ・廃棄物の分別と適切な処理の徹底
- ・古新聞を活用したモールドの利用により、プラスチック製容器の削減
- ・省エネに貢献する設備の導入により、エネルギー省力化および使用量の削減

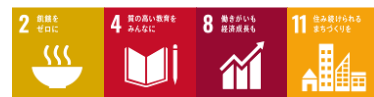


「地域貢献・社会貢献」

地域農産物の販売を通じて、地元農家との連携、地元人材の採用、地域への寄付により、地域社会の活性化に貢献してまいります。

<主な取り組み>

- ・地域農産物（柿、玉ねぎ）の地産地消に貢献
- ・地元農家や地元人材の雇用の創出
- ・地元小学校への寄付により次世代を担う子どもたちの育成に貢献



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



SDGsとは

SDGsとは、Sustainable Development Goals（持続可能な開発目標）の略称で、2015年9月に国連で採択された2030年までの国際目標。「地球上の誰一人取り残さない」をスローガンに、持続可能な社会の実現を目指しており、経済・社会・環境などの分野で17の目標と169のターゲットで構成されています。